



編集 SEF事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば **理事 波多野 正幸**

新入学、新入社の4月が過ぎて本格的活動の季節になりました。4月18日に「少子化対策法改正案」が衆議院を通過の記事がありました。日本の出生率は2023年で72.6万人となり、団塊世代の1/3以下とか。推計より11年早く80万人を割り込み日本経済不安の解消急務な事態です。日本の人口予測は2056年に人口が1億人を下回り、2059年には出生数が50万人を割るそうです。2070年の総人口は現在から3割減の8700万人と推定されています。人口規模を保ち、経済成長の維持の施策を急ぐ必要があります。世界の主要国の出生率も1.6から2.0の範囲にあり、少子化対策はどこの国も重要課題であり、成果を出している国もあります。今年4月に法案が通り、医療保険料に上乗せして国民の負担として徴収されます。児童手当の増額、高校まで無償化、育休手当の増額、貧困支援、など少子化対策に3兆円規模の財源になるとか。医療保険料での徴収には、異論が多く、本来なら無駄を減らし、少子化に割り充てるのが基本であるが、安易に増税型で対応した事に抵抗がありますが、シニア世代は子育て世代の支援のサポートには異存はないし、出来る事があると考えています。

4月度理事会より (第245回 4月17日)		事務局
1. 第23期SEF活動方針・運営方針	→可決承認	6. TKG社の業務費及び業務委託費の改定
2. 第23期予算案	→継続審議	7. 業務支援事業部第22期4Q活動報告
3. 第23期年間スケジュール	→可決承認	8. 第22期事業実績表の更新
4. 第22回通常総会資料	→継続審議	9. 2024年2月度・3月度月次会計報告
5. 第22回通常総会案内状	→可決承認	10. 品川区施設予約システム及び運用の変更

事業報告 3事業部体制について **理事 佐立 弘臣**

4月から「業務支援事業部門」に加え、「プラント事業部」、「プロジェクト X 部」(仮称)の3事業部体制でスタートしました。これはプロセスプラント分野の活動を加速するとともにSEFの活動の多様化を促し、新分野の挑戦の場を創ることにあります。

「業務支援事業部門」は「ディスクリート型産業分野(組立型、ライン型、繊維、フィルム、金属の連続加工型、クリーンルーム型製造業、機器設計など)の業務、講演、研修業務、機器検査業務など間口広く取り組み業務を支援し社会貢献を行います。

「プラント事業部」は会員のより活発な活動機会を増し、エンジニアリング業界の課題を考慮し中堅プラント企業のプロセスプラントの建設、運用に関わる業務支援を行います。企業を支援し、活性化させることで、事業の維持・発展に貢献します。

「プロジェクト X 部」(仮称)はSEFの活動の多様化を促し、活性化に寄与します。人生100年、実働85年を目指す会員向けに文化的刺激の発信を継続します。新テーマを議論し学ぶ機会を創出し、「発芽テーマ」の具体化を進めていきます。皆様には参加したい部門(複数でも可)を選択して頂き、活躍されるよう、よろしくお願い申し上げます。

SEFサロン (第134回案内) **担当理事 白崎 善宏**

《 第134回案内 》

1 日時 : 5月15日(水) 15時00分~16時30分

2 講師 : 松原直美氏 (英国ハロウスクール元教員、鷗友学園女子中学高等学校グローバル教育コーディネーター)

3 講演題目 : 「世界のリーダーは歴史をどう学ぶか」

4 講演概要 : 世界のリーダーは子ども時代、どんな教育を受けてきたのだろうか。これを探るため、リーダーを輩出しているイギリスのパブリック・スクール(私立の伝統校)や国際バカロレア(International Baccalaureate®)採用校での教育をまず概観する。これらの学校で行われる「全人教育」とはどのようなものか、子どもの体験をいかに豊かにしていくかを松原のイギリスでの教員経験をもとに紹介する。次に、考える力を育てる勉強の仕方を紹介する。具体的には、日本とはまったく違う方法で勉強する歴史を例に挙げる。

4月度会員動向		事務局
会員の入退会 なし	4月末日現在の会員数 正会員 : 26名、準会員 : 48名、賛助会員 : 6社	